



—東地中海地域ニュース—

シリア：ムアッリム外相とマシュアル・ハマス政治局長の会談

(5月13日付現地報道)

12日、ムアッリム・シリア外相は、マシュアル・ハマス政治局長と会談を行った。現地での報道振りは以下の通り。

1. ムアッリム外相とマシュアル・ハマス政治局長の会談（13日付現地各紙）

- (1) 12日、ムアッリム外相は、マシュアル・ハマス政治局長と会談を行い、イスラエル攻撃後のガザの状況や封鎖継続などのパレスチナ情勢について協議した。
- (2) 会談では、再建に必要な物資を始めとする基礎的な商品がガザへ運ばれる事をイスラエルが禁止している事により発生している人道上の苦しみについて話し合われた他、パレスチナ間対話の情勢とパレスチナ挙国一致内閣樹立を保障するパレスチナ国民的和解強化の努力についても話し合われた。

2. シアラ副大統領とシャクア・パレスチナ国民会議フォローアップ委員会議長との会談（13日付ティシュリーン紙）

- (1) 12日、シアラ副大統領とシャクア・パレスチナ国民会議フォローアップ委員会議長は会談を行い、最近のパレスチナ情勢及びパレスチナの団結強化の重要性について話し合った。
- (2) シアラ副大統領は、パレスチナ人の帰還権及びエルサレムを首都とするパレスチナ国家樹立の権利を守るというパレスチナ人民の姿勢と精力的な活動を賞賛した。これに対し、シャクア議長は、パレスチナ人民の団結強化に向けたシリアの姿勢と役割を高く評価した。

3. アッバース PA 大統領のシリア訪問（13日付ワタン紙）

ルディーナ PA 報道官は、アッバース大統領が14日にシリアを訪問し、バッシュール大統領と会談する予定であると明かした。また、今回訪問の目的は、アラブ、パレスチナ、シリアそれぞれの立場の整理、両国の関心事項に関する協議及びアラブの連帯強化であると述べた。